学校番号	３０３５

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新 Agenda 家庭基礎　（実教出版）						
副教材等	Super Live View　（東京書籍出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちは人とのかかわりの中で生きています。個人の多様な生き方、考え方を尊重し、協力して家庭や社会を築いていくということの意義を理解し、他の人と協働し、いろいろな視点から生活を改善していく方法を学びましょう。
衣、食、住、家族、保育、高齢者、消費経済などの自立のための生活スキルを授業や実習を通して身につけましょう。
生活課題に対して、意思決定を行う重要性を理解し、自分らしい生き方が実現できるよう人生をデザインしていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだして課題を設定し考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
【学びに向かう力、人間性等】さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	自分・家族	これからをどう生きるか 青年期の自立 社会の変化と意義 家族・人生・生き方と法律 多様な課題を抱える家族・家庭 持続可能な生活と仕事 多様な生き方を保障する社会へ	a: 多様化が進む現代社会において、さまざまな価値観について理解を深め、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについての知識を身に付けている。 b: 家族・家庭生活に関心を持ち、パートナーと協力して家庭や社会を築くことの重要性を理解し、表現することができる。 c: 青年期の課題や自立を自分のこととしてとらえ、人生設計における家庭生活や職業生活を総合的にとらえようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	衣生活	衣生活を見直す 衣服の機能と着装 衣服の材料と成り立ち 衣服の管理 安心して衣服を着るために いろいろな人が着る衣服 これからの衣服	a: 着装、被服材料、被服の構成、被服管理に関して科学的に理解し、健康で快適な衣生活を営むために必要な知識を身に付けている。 b:衣服の機能について理解し、TPOに応じた適切な衣服の選択を表現することができる。 c: 衣生活やライフスタイルと環境に関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。	実習 製作物 定期考査	ワークシート 定期考査	実習 実習レポート ワークシート 振り返りシート

	子ども	子どもと出会う 子どもの心とからだの発達 子どもの生活 子どもの遊び 子どもの育つ環境と社会 子どもの権利と福祉 子どもと共に育つ	a: 子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。 b: 子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	高齢者・社会福祉	高齢者を知る 高齢者の現状と課題 高齢者の尊厳と自立の支援 高齢者を支える制度としくみ 生活を支える福祉と社会保障制度 共生社会の実現に向けて	a: 高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。 b: 高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	生活設計	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	a: ホームプロジェクトと学校家庭クラブについて理解し、計画的に取り組むことができる。 b: 生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、それを発表することができる。 c: 計画にそってホームプロジェクトを実践し、課題解決をめざすことができる。	ワークシート	ワークシート	ワークシート

後期	食生活	食べることを通して 栄養と食品 栄養素のはたらきと食品の栄養 食品の選択 食品の取り扱い 食品の安全性 豊かな食生活の背景には 食事をつくる	a: バランスの良い食生活の重要性を理解し、必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の知識と日常食の調理を調理実習を通して身につけている。 b: 食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: 自らの食生活について、食事と健康、安全と環境に配慮した食生活などの視点から課題を見出し、改善に向け取り組もうとしている。	実習 定期考査	実習レポート ワークシート 定期考査	実習 ワークシート 振り返りシート
	住生活	住まいの選択 ライフスタイルと住まい さまざまな家族・様々な住まい 住まいの安全・安心 住環境の安全・安心 環境共生の今・昔 住まいづくり・まちづくりへの参加	a: 平面図を読み取り、住空間の計画することができる。 b: 家族構成、ライフステージに応じた住空間の計画を考えようとしている。 c: 住生活の文化に関心をもち人と住まいのかかわりについて考えようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	消費・環境	お金の管理とライフデザイン 暮らしと経済のかかわり 意思決定と契約 購入方法の多様化 消費者問題 消費者保護 持続可能な社会をめざして 消費者市民社会	a: 消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、契約についての知識を身に付けている。 b: 現在の経済社会と家計の関係を考えながら家庭の収入支出などについて適切な考えを持ち、判断ができる。 c: 自分が一消費者であることを自覚し、商品の購入のあり方や消費行動について主体的に判断し、意思決定することの重要性について考えを深めている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度